

健康だより

神社に関するお話

今回は、お正月という事で「神社」にまつわる事に関してご紹介したいと思います。様々な宗派をお持ちだと思います。ごく一般的にという事でご理解頂き、ご紹介させて頂けたらと思います。スピリチュアルの事も織り交ぜてみました。ご参考までに。

神社とお寺の違い

神社：日本の神様が祀られている。(神道)

お寺：インドのお釈迦様が開いたものが中国などを經由し伝わる。(仏教)

神社に参拝するなら、可能な限りこの順番を欠かさない方がいいようです。

*産土(うぶすな)の神様

自分が生まれた場所の神社。国籍やどこの宗教を信仰しているかは問わず、その土地の神様のご加護を受けているそうです。

*氏神様

今、自分が住んでいる場所の神様。

※近くても、区域が違う場合があるそうです。気になるようなら、神社庁に問い合わせをしたり、行かれる神社でお聞きしてみてください。

*伊勢神宮

全ての神様の頂点に立つと言われています。

*自分の好きな・目的に応じた神社。

神社の本末関係

本社：主祭神

摂社：主祭神の妻や子供、又は主祭神以前より祭られていた先住神

末社：直接、主祭神とは関係ないが、祭られている小祠(しょうし)

「小さなほこら、やしろ」の事

分社：祭神の分霊を祭った神社

鳥居の真ん中は歩かない。

神様の通り道。

手水（ちょうず）の仕方

右手で柄杓を持ち水をすくう⇒左手をすすぐ⇒持ち替えて右手をすすぐ
⇒持ち替えて左手をお椀型にして水を注ぎ、口をゆすぐ⇒左手をすすぐ
⇒柄杓を立てて柄を洗い流す。

参拝

二礼・二拍手・一礼 ※やり方や言い方が微妙に変わります。

参拝は15：00までに済ませる。

「逢魔が刻」（おうまがとき）と言われるように夕方から幽界の時間に切り替わり、未浄化霊が活発に活動するそうです。

初詣やお祭りなどの時は高級霊に守られていて、いいですがそれ以外の参拝は避けましょう。

おみくじ

参拝が終わった後に、願い事や相談事をお伝えし、引く。

吉や凶といったものは、あまり関係ないようです。そこに振り回されずその言霊を教訓として真摯に受け止め、本来は持ち帰るものです。

お守りはたくさん持つほど良いか！？

お守りのもつ波長が混乱して逆効果になる事もあるようです。

あまり依存せず、必要なものだけ身につけたいものです。

お守りのエネルギーは時が経つにつれ、薄れていきますので、

役目を終えたら、（1年ぐらい）可能な限り同じ神社にお返ししましょう。

お葬式が出たら、神社に行ってはいけない！？

死は「穢れ」（けがれ）であるとした昔の神道の迷信のようです。

昔は疫病で多数亡くなる事もあったので、病原菌をもっているかもしれないので不特定多数の場に出ないようにしようという意味合いもあったのかもしれない。

鳥居にくぐってはいけないというのも迷信で、お祓いの意味があるので、むしろくぐるべきだそうです。